

2021年4月13日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 5-1-28
www.lilly.co.jp

EL21-17

日本イーライリリー 2020年度 主な業績、開発進捗を発表 主力となる成長製品と5つの新製品・適応追加によりさらなる成長へ

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:シモーネ・トムセン、以下、日本イーライリリー)は、2020年度の業績について、売上高が対前年比2.9%減の2,671億円¹、販売数量0.8%増であったことを発表しました。2020年は新型コロナウイルス感染症の拡大もありましたが、日本イーライリリーは2製品の製造販売承認および3製品において適応追加の承認を取得しました。また、製品の安定供給や開発の歩みを止めることなく進めることができました。加えて、顧客価値の向上につながるデジタル化の推進をバリューチェーン全域にわたって力強く推進しました。その結果、2020年の主な業績や開発進捗は下表の通りとなり、累積2,350万人の日本の患者さんのより豊かな人生に貢献する医薬品を提供する、という中期経営展望(2020年から2025年)に向けて、成長の基盤を強化することができました。

2020年 主な業績、開発進捗

<業績・製品別売上高>

糖尿病領域

- GLP-1 受容体作動薬「トルリンティ^{®2}」 17%増*
- SGLT-2阻害薬「ジャディアンス^{®3}」 23%増*
- 「ジャディアンス[®]」とDPP-4阻害薬「トラゼンタ[®]」との配合剤である「トラディアンス^{®4}」 101%増*

がん領域

- 抗悪性腫瘍剤「サイラムザ[®]」 8%増*
- 抗悪性腫瘍剤「ページニオ[®]」 87%増*

自己免疫疾患領域

- 経口ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤「オルミエント[®]」 62%増*
- ヒト化抗ヒトIL-17Aモノクローナル抗体製剤「トルツ^{®5}」 23%増*

筋骨格・中枢神経領域

- セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤「サインバルタ^{®6}」 4%増*

<承認取得・適応追加>

- 低血糖時救急治療剤「バクスミー[®]点鼻粉末剤 3mg」低血糖時の救急処置を効能又は効果として製造販売承認を取得(2020年3月25日)

¹ 決算ベースの数字にグローバルアライアンスの売上等を加えた数字。

² 大日本住友製薬株式会社との販売提携

³ 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社との共同販促(コ・プロモーション)

⁴ 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社との共同販促(コ・プロモーション)

⁵ 鳥居薬品株式会社との共同販促(コ・プロモーション)

⁶ 塩野義製薬株式会社との共同販促(コ・プロモーション)

* 薬価ベース、Copyright © 2021 IQVIA. JPM(2020年12月MAT)をもとに作成 無断転載禁止

- 新規の超速効型インスリンアナログ製剤「ルムジェブ®注ミリオペン®、同注ミリオペン®HD、同注カート、同注 100単位/mL」インスリン療法が適応となる糖尿病を効能又は効果として製造販売承認を取得（2020年3月25日）
- ヒト化抗ヒトIL-17Aモノクローナル抗体製剤「トルツ®皮下注 80mgシリンジ、同皮下注 80mgオートインジェクター」X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎に対する治療薬として適応追加の承認を取得（2020年9月25日）
- 抗悪性腫瘍剤「サイラムザ®点滴静注液 100mg、同点滴静注液 500mg」切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌に対する用法及び用量の追加、また、すべての適応に対する投与時間短縮に係る承認事項一部変更承認を取得（2020年11月27日）
- 経口ヤヌスキナーゼ（JAK）阻害剤「オルミエント®錠 4mg、同 2mg」既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎に対する治療薬として適応追加の承認を取得（2020年12月25日）

2020年度の業績について、日本イーライリリー代表取締役社長のシモーネ・トムセンは次のように述べています。「新型コロナウイルス感染症の拡大により、患者さんのために日々尽力されている医療従事者の皆様には、心より敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。2020年はヘルスケア業界に対して例年にも増して注目が集まり、その役割を新たな環境下で試される年となりました。その中でも、当社は販売営業においては、デジタルツールの活用を積極的に促進し、医療従事者のご負担にならないように配慮しつつ、効果的・効率的なコミュニケーションを強化することで、その回数は2019年対比30%以上増加しました。また、開発製造においては、年初計画通りの臨床試験遂行に加え、患者さんに必要とされる製品の安定供給に努めました。さらには、会社の重要な戦略として『ダイバーシティ&インクルージョン』や健康、社員の能力発揮につながる取り組みも強化・加速させています。柔軟な働き方と就業環境に投資をしてきたことで、新型コロナウイルス感染症拡大の状況に対しても素早く対応することができました。総じて、当社は、厳しい環境であった2020年度を通して、2021年以降の成長のための礎を強固に築くことができたと考えています。私たちは、これらの成果を基盤に、患者さん志向によるイノベーションを推進し、より多くの人々のより豊かな人生に貢献し、さらなる成長を図ってまいります。」

以上

イーライリリー・アンド・カンパニーについて

リリーは、世界中の人々の生活をより良いものにするためにケアと創薬を結び付けるヘルスケアにおける世界的なリーダーです。当社は、1世紀以上前に、真のニーズを満たす高品質の医薬品を創造することに全力を尽くした1人の男性によって設立され、今日でもすべての業務においてその使命に忠実であり続けています。世界中で、リリーの従業員は、それを必要とする人々の人生を変えるような医薬品を開発し届けるため、病気についての理解と管理を向上させるため、そして慈善活動とボランティア活動を通じて地域社会に利益を還元するために働いています。リリーの詳細については www.lilly.com および www.lilly.com/news をご覧ください。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <https://www.lilly.co.jp>

(参考資料)

2020年度 製品別売上高(日本)(薬価ベース、IQVIA JPM(2020年12月 MAT)をもとに作成)

製品名	2020年売上高(億円)	対前年比
サインバルタ®	637.64	4.4%
サイラムザ®	521.04	7.5%
アリムタ®	404.10	9.2%
トルリシティ®	333.30	17.2%
フォルテオ®	278.77	-36.0%
ジャディアンス®	273.58	22.7%
ベージニオ®	194.60	87.3%
オルミエント®	141.60	62.3%
トラディアンス®	129.30	100.6%
ヒューマログ® ヒューマリン®	116.40	-4.6%
ジプレキサ®	106.58	-18.1%
ストラテラ®	79.58	-48.8%
ヒューマトロープ®	72.38	-6.9%
トルツ®	68.67	23.3%
インスリン グラルギンBS注「リリー」	46.13	3.7%
エビスタ®	40.98	-23.2%
ジェムザール®	13.33	-21.8%
バクスマー®	0.92	n/a
ルムジェブ®	0.47	n/a

本表の合計は決算ベースの売上高の数値と一致しません。

Copyright © 2021 IQVIA. 無断転載禁止

開発品一覧 2021年3月31日現在

治験薬記号(一般名)および剤型	予定される効能又は効果、対象疾患名および症状名	国内の開発段階※
LY2062430 (一般名: ソラネズマブ) 静注製剤	プレクリニカル期アルツハイマー病	開発後期
LY3009104 (一般名: バリシチニブ) 経口投与製剤	SARS-CoV-2による感染症	開発後期
LY3009104 (一般名: バリシチニブ) 経口投与製剤	円形脱毛症	開発後期
LY3009104 (一般名: バリシチニブ) 経口投与製剤	アトピー性皮膚炎(小児用量)	開発後期
LY3009104 (一般名: バリシチニブ) 経口投与製剤	I型インターフェロン関連自己炎症性疾患(中條-西村症候群、乳児発症性STING関連血管炎、エカルディ・グティエール症候群)	開発後期
LY3009104 (一般名: バリシチニブ) 経口投与製剤	多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎	開発後期
LY3009104 (一般名: バリシチニブ) 経口投与製剤	全身型若年性特発性関節炎	開発後期
LY3009104 (一般名: バリシチニブ) 経口投与製剤	全身性エリテマトーデス	開発後期
LY3074828 (一般名: ミリキズマブ) 静注製剤, 皮下注製剤	クローン病	開発後期
LY3074828 (一般名: ミリキズマブ) 静注製剤, 皮下注製剤	潰瘍性大腸炎	開発後期
LY3074828 (一般名: ミリキズマブ) 静注製剤, 皮下注製剤	尋常性乾癬	開発後期
LY3298176 (一般名: tirzepatide) 皮下注製剤	肥満又は併存疾患を有する過体重	開発後期
LY3298176 (一般名: tirzepatide) 皮下注製剤	2型糖尿病	開発後期
LY3527723 (一般名: selpercatinib) 経口投与製剤	RET融合遺伝子陽性非小細胞肺癌	開発後期
LY3527723 (一般名: selpercatinib) 経口投与製剤	RET遺伝子変異陽性甲状腺髄様癌	開発後期

LY573144 (一般名: lasmiditan) 経口投与製剤	片頭痛(小児用量)	開発後期
LY573144 (一般名: lasmiditan) 経口投与製剤	片頭痛	開発後期
LY2835219 (一般名: アベマシクリブ) 経口投与製剤	乳癌における術後補助療法	開発後期
LY3650150 (一般名: lebrikizumab) 皮下注製剤	アトピー性皮膚炎	開発後期
LY3527723 (一般名: selpercatinib) 経口投与製剤	RET遺伝子異常を有する小児固形がん(小児用量)	開発後期
LY2951742 (一般名: galcanezumab) 皮下注製剤	片頭痛(小児用量)	開発後期
LY3012207 (一般名: olaratumab) 静注製剤 ^{***}	軟部肉腫	開発後期
LY2835219(一般名: アベマシクリブ) 錠剤	ホルモン受容体陽性かつHER2陽性で再発高リスクの乳癌における抗HER2療法後の術後薬物療法	開発後期
LY3009806 (一般名: ラムシルマブ[遺伝子組換え]) 静注製剤	滑膜肉腫(小児用量)	開発中期
LY3009806 (一般名: ラムシルマブ[遺伝子組換え]) 静注製剤	線維形成性小円形細胞腫瘍(小児用量)	開発中期
LY3002813 (一般名: donanemab) 静注製剤	アルツハイマー病	開発後期
LY3303560 (一般名: zagotenemab) 静注製剤	早期症候性アルツハイマー病	開発中期
LY3074828 (一般名: ミリキズマブ) 静注製剤, 皮下注製剤	潰瘍性大腸炎(小児用量)	開発中期
LY3298176 (一般名: tirzepatide) 皮下注製剤	非アルコール性脂肪肝炎	開発中期
LOXO-305(一般名: Pirtobrutinib) 経口投与製剤	マントル細胞リンパ腫	開発中期
LY3471851(一般名: 未定) 皮下注製剤	全身性エリテマトーデス	開発中期
LY3471851(一般名: 未定) 皮下注製剤	潰瘍性大腸炎	開発中期

※ 開発中期: 第Ⅱ相臨床試験、開発後期: 第Ⅲ相臨床試験以降

*** LY3012207 (一般名: olaratumab) 静注製剤に関して: 本試験は全試験集団および平滑筋肉腫(LMS)部分集団の両方で、主要評価項目である全生存期間(OS)を達成しませんでした。
現在olaratumabを投与されている患者さんは、医師と相談の上、臨床的有用性が認められる場合には試験を継続できます。